

## 2014 年度卒業論文の提出および発表会開催について

4 回生担任 小野奈々

## 1. 卒業論文の提出

## (1) 提出日時および提出場所

- ・日時：2015 年 1 月 23 日（金）13:30～15:30
- ・場所：B2-209 室

\*時間を厳守すること。提出が指定時間から 1 秒でも遅れた論文は、判定を 1 段階下げる。（判定基準については先に配布した「卒業論文の判定基準と卒業研究の単位認定」を参照のこと）また、1 時間以上遅れて提出された論文に関しては「D 判定」（再提出）とする。卒論の提出間際にはプリンターのトラブルが頻発するので、余裕を持って原稿を印刷すること。

\*論文の審査を受けようとする者が査読者を指定することはできない。

## (2) 提出物

- ・卒業論文本編（表紙、要旨、目次、本文、謝辞、付録等）：2 部
  - \*本編は 1 部ずつファイルに綴じこむか、クリップで留めて提出すること。バラバラの状態での提出は受け付けない。ファイル、クリップは、事前に B2-209 まで取りに行くこと。
  - \*謝辞は 1 月 23 日提出時点では、なくてもよい。
  - \*論文本編と要旨の作成に当たっては、先に配付した「2014 年度論文作成時の注意について」をよく読んで、指示に従うこと。
- ・要旨（発表会用配布資料作成原稿として使うので片面印刷のこと）：1 部
  - \*要旨は 1 月 23 日提出時点では、和文または英文のいずれかでよい。
- ・卒業論文審査申請書・受領証 1 部
  - \*別紙 1 の書式のものに学籍番号、氏名、論文タイトルを記入し、指導教員の許可印をもらって提出する。特に論文タイトルが、卒業論文本編、要旨と同一であることを確認すること。

## 2. 発表会

- ・日時：2015 年 2 月 2 日（月）10:40～18:00  
2015 年 2 月 3 日（火）10:40～17:30
- ・場所：両日とも交流センター大ホール
- ・発表時間：発表は、一人 10 分間、質疑応答と助言をその後の 5 分間とし、一人あたり計 15 分とする。発表時間を厳守すること。

## 3. 発表要旨

論文本編とともに提出した要旨（4 ページ）をそのまま使用する。

## 4. 発表用電子媒体の提出

発表用のスライドファイルは、ゼミごとに USB メモリーあるいは CD など電子媒体に収録し、発表会場に設置したノート PC のデスクトップに保存すること。提出期限は 2015 年 2 月 2 日（月）（発表会初日）10:00～10:30（厳守）とする。なお、ソフトとしては MS PowerPoint2013 を用意する。

## 5. 発表順序

1 月 23 日の夕方（17 時前後）、B1-B2 棟の間にある 1 階エレベーター前の掲示板に掲示する。

\*卒論未提出の（発表しない）学生がいる場合は、発表の順番をその時限内で順次繰り上げる。

\*就職活動等のやむを得ない理由を持つ学生は、事前に指導教員を通じて 4 回生担任まで可能な発表日と時間帯を申し出ること。

## 6. 査読教員

1月23日の夕方（17時前後）、B1-B2棟の間にある1階エレベーター前の掲示板に掲示する。

## 7. 注意事項

- \* 論文本編や要旨，発表用スライドファイルにおいて，個人情報（団体名なども含めて）が出てくる場合は，その表現等について，事前に当事者の了解をとっておくこと。
- \* 発表会終了後に合否判定会議を行う。発表を行った者は指導教員から結果の通知を受けるまで演習室等で待機すること。卒業論文の判定基準と卒業研究の単位認定については別紙「卒業論文の判定基準と卒業研究の単位認定」のとおりとする。
- \* C判定以上の評価を受けた学生であっても，必要な修正を加え，査読教員と指導教員の承認が得られ，定められた期日までに保存版論文を提出しない限り卒業は認められない。保存版論文の提出前の旅行等は控えること。
- \* 「D判定」（再提出）の判定を受けた学生は，卒論を2月26日（木）15:00～16:00に再提出することができる。再発表は3月4日（水），時間と場所等は追って通知する。再発表の結果がB判定以上で，必要な修正を加え，指導教員の承認が得られ，3月18日（水）までに保存版論文を提出できれば，3月末日に卒業できる可能性は残される。

以上